

慈善茶会実行委員会

担当副理事長名：石渡 隆雄

委員長名：石渡 隆雄

副委員長名：榊原 正博

委員名：

1) 事業報告

(Ⅰ) 人を大事にする心を育み、慈善茶会への意識を高める為の事業の開催

- (a) 内 容：勉強会の開催
- (b) 時 期：2012年 2月28日
- (c) 開催場所：松林庵
- (d) 対 象：正会員20名 入会希望者1名

(Ⅱ) 第44回慈善茶会の開催

- (a) 内 容：慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2011年 5月12日
- (c) 開催場所：大仏殿高德院
- (d) 対 象：正会員31名 OB14名、お客様（茶券）496名、
松林庵関係者15名、淡交会鎌倉支部25名、
淡交会鎌倉支部青年部40名、鎌倉女子大学茶道部14名、
鎌倉高校7名、七里ガ浜高校7名、深沢高校7名、
鎌倉ユネスコ協会30名、こぼとナーサリー18名、
社会福祉法人清和会3名、回廊協働団体25名 合計732名

(Ⅲ) 関係諸団体との信頼関係を構築する為の事業の開催

- (a) 内 容：第44回慈善茶会後に懇親会を開催
- (b) 時 期：2011年 5月12日
- (c) 開催場所：華正楼
- (d) 対 象：正会員25名 入会希望者1名 OB12名
協働団体関係者10名

委員会報告

慈善茶会実行委員会では、茶道を通じて心の豊かさ、とりわけ人を大事にする心を育む事を目的に一年間活動して参りました。

2月例会では、第一部を慈善茶会について、第二部を茶道の講義、第三部を茶道の体験の三部構成で開催しました。会員には、慈善茶会に対する意識を高める事が出来た事は、慈善茶会の各役割を理解し行動出来る事に繋がり、ひいては茶道の教えのひとつであるおもてなしの心を通じて、人を大事にする心が育まれると確信致します。

5月例会(第44回慈善茶会)では、全ての参加される方々が人とのつながりの大切さ、日本文化を通じた人との縁の尊さを実感して頂く為の場と致しました。回廊では、鎌倉青年会議所による防災からみた鎌倉の地域の「わ」を感じて頂く為のブースを設置致しました。茶会当日は、晴天に恵まれ、会員、協働団体関係者の心の込めたおもてなしにより、多くの参加者の皆様にご満足頂けたと思います。第44回慈善茶会後の懇親会は、当会議所メンバーが、参加者の皆様と様々な意見を交換し親睦を深めると共に感謝の意をお伝える事が出来ました。この様な一つの事業を成し遂げた達成感を感じられた事は、更なる信頼関係を築く事に繋が、関係諸団体の皆様により一層当会議所の運動へご理解とご協力を賜る事に繋がる機会になったと確信いたします。

この一年を振り返りますと、皆様のご協力やご支援が無ければ、委員長として一年間活動出来なかったと思います。本当に皆様には、心から感謝申し上げます。反省点も多くありますが、しっかり反省し今後に生かしていければと思います。

最後になりますが、鈴木理事長をはじめとする正副の皆様、榊原副委員長をはじめとする各部長の皆様、ご協力頂きました全ての皆様に心から感謝を申し上げさせて頂き、慈善茶会実行委員会の委員会報告とさせていただきます。一年間 本当に有難う御座いました。